

平成 22 年度第 3 回（通算第 31 回）

## 山口国際文化化学研究会へのおさそい

### 「シベリア出兵とスペイン・インフルエンザ」

教員世話人 安溪遊地 井竿富雄 張玉玲

院生世話人 高静 申明賢 竹部徳真

日時 平成 22 年 6 月 23 日（水曜日）16 時 10 分より

場所 国際文化学部会議室

主催 大学院国際文化学研究科

発表者 井竿富雄(国際文化学部教授)

タイトル 「シベリア出兵とスペイン・インフルエンザ」

(要旨)

日本政治外交史の中で、シベリア出兵はなかなか扱いにくいテーマです。大著が書かれていながら、意外に分かっていないことが多いのです。以前この研究会で「在外居留民の「救恤」問題」について話させていただきましたが、昨年見つけた当時の報告書の中にある「流行性感冒」今でいうスペイン・インフルエンザとシベリア出兵とのかかわりについてみていきたいと思っています。

これは単にエピソード的に面白いというからではなく、戦争のような大きな事件にかかわる人々がどのような状況下に置かれていたかを知るために重要な作業です。政治史は、その構成員のありようまでが知られるべき作業を必要とします。実はまだ私にも分からないことだらけで、皆さんも驚かれるかもしれません。また、私としては未知の領域である「医学」の話という部分もあります。

作業進行中の中身をお話ししながら、シベリア出兵研究や、日本政治史の研究のことにも触れていこうと考えています。政治史というとどうも分かりづらいイメージがありますが、専門外の方にも理解をいただけるようにしていくよう努力します。

終了後 18 時から Yucca で、第二部として自由なトークを展開できる場（やまぐち国際文化学 SALON）を準備しております（有料）。こちらも皆様の積極的なご参加をお願いいたします。